

「避難バッグゲーム」使用報告書

<作業療法プログラムで災害への意識づけ>

はじめにスタッフ間で実施し、入院患者や外来患者でも実施できるよう、ルールを多少変更し行いました。カードを出し、それを選んだ理由を言うことで楽しく災害への意識をつけることができましたと思います。

(医療法人)

<避難訓練の一部として>

職員が子どもたちに説明をしたあと、実際に行いました。当初は、障がいを持った子どもたちの通う場所であり様々な症状の子どもがいるため、なかなかルール通りに進行することが難しかった。計算ができない、字が読めない、指先の力が弱い等、ほぼ職員がつきっきりの状況であり、イベントカードも職員が読み上げることに。大人でも迷うような答えもあり判断に困る場面もありました。一般の学校であれば、楽しく遊べたかもしれないと感じました。

(児童デイサービス)

<避難訓練にて使用>

- 点数ではなく枚数でいいと思う
- 子どもだけでもできるようにフリガナをつけてほしい
- 裏にも絵があるといい
- 「水」は1枚でカウントするのであれば、1本の絵でいいと思う

(児童デイサービス)

<カードゲーム遊びとして>

子どもでもすぐルールが理解でき楽しんでいました。何度も繰り返し遊んでいました。カードにフリガナがなかったので、読めない子どももあり、フリガナをつけてほしい

(児童デイサービス)